

すがすがしい風が吹き、若葉の美しい季節となりました。園庭からは、子どもたちの大きく元気な声が聞こえてきます。この時期は、気温の差から体調を崩したり、新しい生活で気を張っていた子どもたちの疲れが出る頃です。ご家庭と連携を取りながら、お子さんの様子にも気を配っていきたいと思います

春に注意したい心と身体の健康

GW はご家族のリフレッシュの チャンスですが、楽しすぎて疲れ を残してしまうこともあります。

GW 明け、生活リズムの乱れから、情緒不安定になることもあります。



4月からの環境の変化、季節の変わりめで、疲れが出て体調を崩しなすいです。

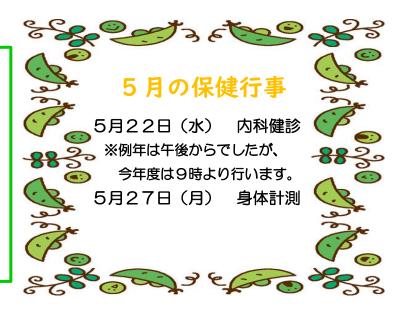
新しい環境にも慣れ、少しずつ緊張が取れて開放的になってくる時期。

転んだりぶつかったりの事故が多くなります。

- ・心も身体も不安定になる事もあります。普段からの健康チェックをしっかりしましょう。
- 体調のすぐれない時は無理をせずにお休みしましょう。
- お子さんの言葉にも耳をかたむけてあげましょう。(だるい、痛い、疲れたなど)
- ・スキンシップを取りながら、園の話を聞いたり、頑張ったことを褒めてあげましょう。
- お子さんの事で心配な事、気になる事などありましたら、園にご相談ください。



近隣園では、例年に比べ、発熱や風邪でお休みするお子さんが多かったようです。本園でも体調を崩して休まれるお子さんが数名おられました。 気候の変化もあり、疲れも出やすい時期に入り、体調を崩しやすくなります。「いつもと違う」「気になる」症状がある場合は、担任又は看護師にご相談ください。



5月は体が暑さに慣れていないので、**「熱中症**」に注意が必要です。

暑さに負けない体づくり
をしましょう!

『暑熱順化(しょねつじゅんか) 』を知っていますか?

『暑熱順化』 = 体を暑さに順応させる事。

暑熱順化していない(暑さになれていない)体

- 少ないべたべたの汗をかく
- ・体温が上がりやすい(熱を発散しにくい)
- ・水分補給で回復しにくい
 - →熱中症にかかりやす

暑熱順化している(暑さになれている)体

- さらさらの汗でしっかり汗をかける
- ・体温が上がりにくい(熱が発散しやすい)
- ・水分補給で回復しやすい

→熱中症にかかりにくい



本格的に暑くなる前に、身体を暑さに慣れさせることが重要です!

『暑熱順化』に有効な対策は?

暑熱順化には、数日~2週間程度かかります(個人差があります)

実際に気温が上がり、熱中症の危険が高まる前に無理のない範囲で<mark>汗をかくこと</mark>が大切です。

〈汗をかく方法〉

☆体が汗ばむ程度に無理のない範囲で遊んだり、運動をする ☆湯舟に浸かっての入浴



せっかく一度暑熱順化ができても、数日暑さから遠ざかると効果はなくなってしまいます。

毎日少し汗をかくことを心掛け、クーラーの過度の利用(低すぎる設定温度や長時間の使用)や、 シャワーだけの入浴には注意しましょう。

おらせ

病児・病後児保育室「チャイルド・ケアセンター」利用時の助成金手続きについて

助成金の手続きの際、病院で受け取った「医師連絡票」の文書代が記載された領収書が必要です。

助成金の手続きには、**「医師連絡票」の文書代が記載されているもの**を持参してください。

※明細書での助成金手続きは行えません。ご了承下さい。